



HODSOLL MCKENZIE  
LONDON

BY ZIMMER + ROHDE





# 1851

## The Idea Behind

コレクションの背景

1851年に開催された初めての万国博覧会は、それまで見たことのないような光景であふれていました。28か国から17,000の出展社が、アルバート王子からの招待状によってロンドンのハイドパークへ集まり、自国の進歩と豊かさを披露する展示を行いました。

クリスタル・パレスは展示会のために建てられた建物で、公園の古いニレの木を建物の内側に包み込んだ、大聖堂の形をした画期的な鋳鉄製の建造物です。その10ヘクタール以上におよぶ場所には世界中から集められた大量の商品が溢れ出し、まるで19世紀におけるバビロニアが現れたかのようでした。それは大博覧会と呼ばれるように、今でも産業の歴史のワンショットとして語り継がれています。

ホッドソル・マッケンジーのコレクション「1851」は、世界中から600万人以上の訪問者を集めた時代のスペクタクルに敬意を表し、作られました。また同時代に起こった、新しい大量生産によって危険にさらされていると思われる、製品の審美的要素と職人技を維持しようとする、アーツアンドクラフツ運動にも触発されました。伝統的な職人技と革新への探求の間の緊張感は今日でも大いに存在し、ホッドソル・マッケンジーのコレクションの基盤ともなっています。





## KOHINOOR

豊かな質感のある糸を使い半透明に織り上げたアイテム。ボリュームのある糸は手作業で加工され、非常にゆっくりとしたマルティントという工程で染色されることで、手染めのような風合いが広がり、自然の陰影を生み出しています。さらにアイロ仕上げを施すことで、エレガントで柔らかいドレープ性のある生地となっています。

KOHINOORは世界最大のダイヤモンドの1つにちなんで名付けられています。ペルシャ語で「光の山」を意味する「KOHINOOR(コイヌール)」は5000年の年月が経っていると言われ、かつてはデリーの孔雀の玉座の一部でした。ペルシャとパンジャブのさまざまな派閥の間で持ち主が交代し、1849年に大英帝国に贈られ、現在でも英国の王冠の宝石の一部となっています。万国博覧会でこの108カラットのダイヤモンドは、扉なしの鳥かごの中で展示されました。







## VELOCIPEDIA

VELOCIPEDIAは、手描きのデザインをデジタルプリントで表現した、コレクションの中でも特別なアイテムの一つです。サイクリングをする人々の小さな風景が描かれたこのデザインは、19世紀のオリジナルの絵画のイメージ、色、スタイルに基づいています。自転車に乗っているのは主に女性であり、当時の活躍する女性たちと思われます。柔らかなドレープのコットンリネン地に描かれたモチーフには、リピートに関係なくデザインされたかすれが全体的に入っており、美しい古色のイメージを作り出しています。





## PAXTON

広幅のリネン地、PAXTONは、透過性がありとても柔らかい生地です。緯糸には緩やかに浮くように織りこんだ柔らかなアルパカメリノ糸が使用され、特別感あるハンドクラフト調のストライプデザインとなっています。ベースは色の陰影がまだらに表現され、特に色にニュアンスのある濃色はアルパカの糸を美しく見せます。

生地の持つ構造による透明感は、長さ564メートル、高さ39メートルの鋳鉄製フレームによるガラスの宮殿である「クリスタル・パレス」を開発した造園家ジョセフ・パクストンへのオマージュになっています。



A word with Design Director Fredericke Winkler

## WHY LINEN IS MY FAVOURITE MATERIAL

デザインディレクター / フレデリック・ウインクラー

### なぜ私がリネン素材を好きなのか

「ホッドソル・マッケンジー」のコレクションを製作するため、自然素材に没頭できることは私にとって喜びです。自然素材の中でも特に気に入っているのはヨーロッパのリネンで、それはヨーロッパの文化史全体を反映しているものです。

従来から着ている洋服、そしてダイニングテーブルとベッドルームの文化、リネンという丈夫でエレガントな生地がなければ、これらすべてはどうなっていたでしょうか。その外観は、思想家の質素さと宮廷生活のあふれんばかりの豪華さの両方を呼び起こします。農民のシャツによくある実用的な雰囲気と同時に、贅沢に装飾された小さなドイリー（レース）の退廃的なイメージももたらします。人がこの世を去る際の「最後の服」であるシュラウドに使われていたのはリネンでした。そして、ヨーロッパの美術史においても、もしリネンや伝統的亜麻仁油に由来する絵の具がなければ、絵画は全く別の素材に描かれていたことになります。

リネンは、例えばボードリヤールの散歩のように騒々しく、ゲーテのヴェルターのように悲惨で、シェイクスピアのロミオのように狂おしい恋をし、そして風車で傾いているドン・キホーテのように馬鹿げているといった、そんな性質にも似ています。自分たちのアイデンティティを求め、真の価値観をめぐって苦悩する西洋世界ですが、人間はこのようなムードや素材の中にこそ、人生に意味を吹き込み、居場所を見つけることができるのです。

リネンの繊維特性が他の多くの天然繊維よりはるかに優れていることも忘れてはなりません。リネンは湿気を運び、部屋の中に快適な空調条件を作り出します。そして他の素材にはない「持続可能」な原料でもあります。亜麻の栽培は、例えば綿の場合のように灌漑を必要とせず、害虫駆除が必要になることはめったにありません。7年間隔での伝統的な輪作は、落葉しないという事実とともに、土壌を肥沃に保ち、生態系の健康を促進するのに役立ちます。



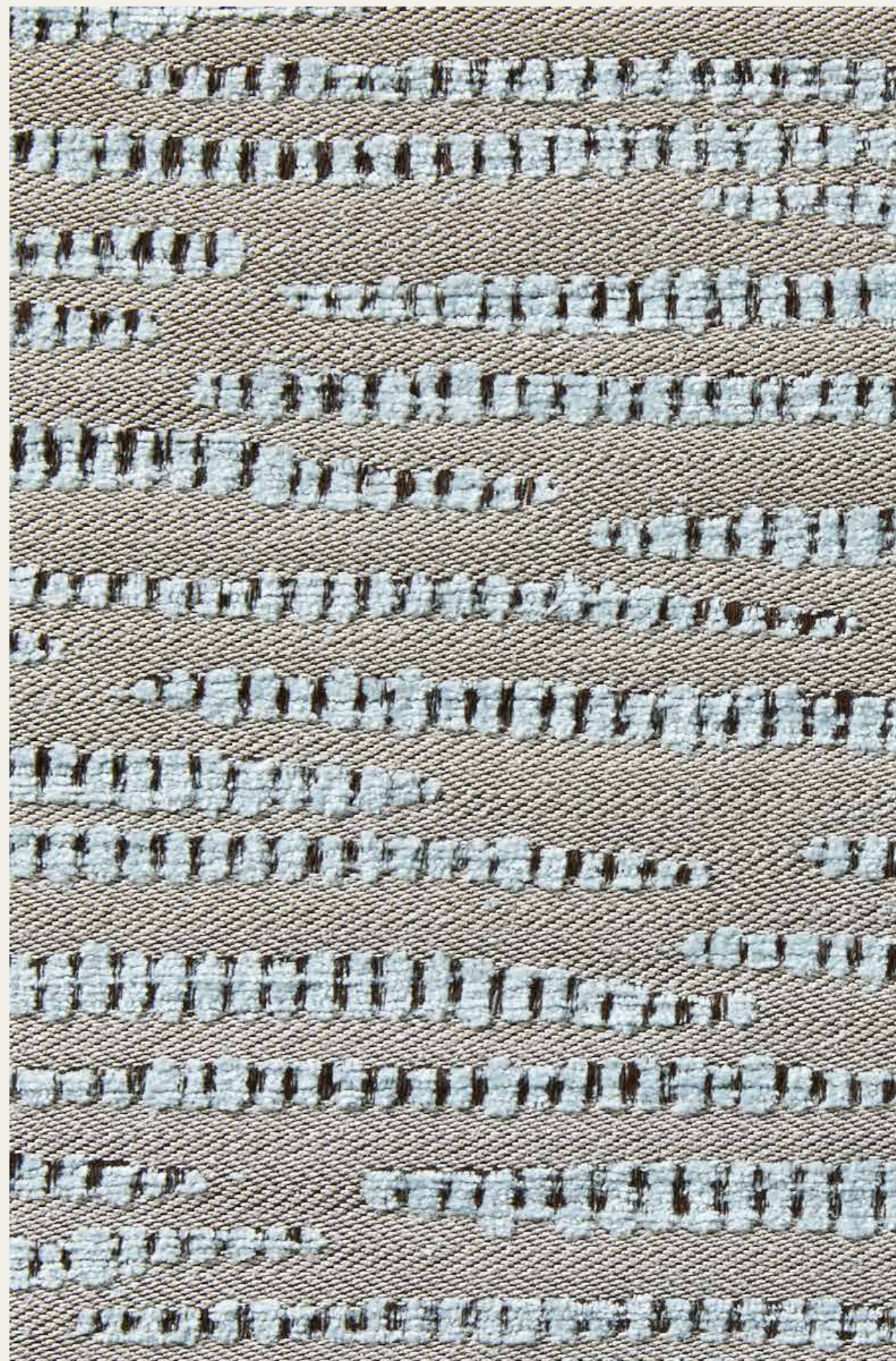




## CAROLINE ELM

18世紀初頭、キャロライン女王はハイドパークに多数のニレを植えました。それらは後にジョセフ・パクストンが造園したクリスタル・パレスのドームに統合されます。椅子張地のCAROLINE ELMは、樹皮のようなパターンによって、これらニレの木を連想させるデザインとなっています。

このパターンは、緯糸に柔らかいシェニール糸を使用し、表面に浮かせるように織られています。出来上がったアイテムは、ベースの古典的なヘリンボーン柄を新しいイメージに仕立っています。素朴で自然なイメージのカラーバリエーションで、一部の色はアニマル柄のような印象に見える色もあります。







## FLOWERING

ナチュラルなコットンリネン地にリンゴの花が咲く枝が、細く豊かな色彩で彩られ描かれたアイテムです。4色のエレガントなマットビスコースの刺繍は、フランスの芸術家であり、バルビゾン派のメンバーであるジャン・フランソワ・ミレーの「花咲くリンゴの木」から着想を得てデザインされました。繊細な色から遊び心のある色まで、5色の展開からお選びいただけます。





## SYDENHAM

SYDENHAMは、ナチュラルなコットンキャンバス地に、1ステッチあたり20本以上のポリエステル®のспан糸で、フライステッチの刺繍が施されています。1936年にクリスタル・パレスが全焼するまでそこにあったシドナム公園を思い、デザインの名前の由来としたもので、パターンは公園のなだらかな風景をイメージしてデザインされました。豪華で鮮やかなその刺繍は、エレガントで重厚感のある印象を窓辺に提案します。



## WINSLOW

この椅子張地は、まるで触れて欲しいと言っているようなアイテムです。コットンとリネンの比率が高いため、ふわふわとしたシェニール糸の表面は特にナチュラルな手触り感があります。ベース部分には、いくつかの種類の糸が使用され、手織りのように見える強い織り部分があり、色によって対照的なカラーが印象的です。WINSLOWは、遠くから見ると、糸の効果によって、19世紀の終わりにメイン州で描かれた、アメリカの画家Homer Winslowの自然の風景を連想させるかのような、音の響きわたる海、または牧草地のように見えるアイテムです。











## BARBIZON & CRYSTAL PALACE

単色のコットン生地であるBARBIZONは、羽のように軽く、つい触れたいくなるような質感です。経糸と緯糸の両方に手作業で加工されたフラメ糸を使用し、まるでリネンのような力強い質感を作りました。かすかにグラデーションのかかった8色の展開で、コレクションの他のアイテムと一緒に使用できる完璧とも言えるベーシックな生地です。

CRYSTAL PALACEは、手描きによる円形モチーフを組み合わせて構成されており、質感の高いコットン地にデジタルプリントで描かれています。1851年の万国博覧会の開催地であるロンドンのハイドパークにあったクリスタル・パレスのドームの造形を美しく思い出させるパターンです。





Babel



**21260**  
5 Colorways

Barbizon



**21263**  
8 Colorways

Caroline Elm



**21259**  
11 Colorways

Millais



**21268**  
5 Colorways

Paxton



**21265**  
5 Colorways

Crystal Palace



**21264**  
6 Colorways

Effie Gray



**21266**  
11 Colorways

Flowering



**21262**  
5 Colorways

Sydenham



**21267**  
4 Colorways

Velocipedia



**21269**  
3 Colorways

Holman Hunt



**21270**  
4 Colorways

Kohinoor



**21261**  
4 Colorways

Winslow



**21258**  
6 Colorways